

共に高校生の夢を応援して下さる方は、狭山市社会福祉協議会へお問い合わせください。

話題がいろいろ、第2層活動！

まちの縁側推進プロジェクト水富

まちの縁側推進プロジェクト水富が水富地区に設置したベンチも30カ所を超え、ベンチの存在をご存知の方、「使っているよ」「ありがたいよ」と声をかけて下さる方が沢山増えてきました。

設置したベンチは毎年メンテナンスし、地域住民が協力し合って修繕や再塗装を行っています。

今年度新たにベンチを設置した笹井の「しむら」さん。現在は毎週木曜日～日曜日の11時～17時30分に開店し、駄菓子やお惣菜を販売しています。放課後になると、授業の終わった子どもたちやお迎えの親御さんで大賑わい。お店に置いてもらった縁側ベンチも、憩い・集いの場所として大活躍しています。

まちに置かれた縁側ベンチに座ると、地域みんなが顔なじみになっていく。そんな素敵なまちづくりが、今日も広がっています。



気軽に立ち寄ることのできる
身近な居場所。

おたがいさま♡ふじみ



誰が認知症でも、住み慣れた地域で暮らせるように。

世界アルツハイマーデーである9月21日、富士見公民館ホールを会場に、おたがいさま♡ふじみで「認知症勉強会」を開催しました。

当日は、市役所職員や認知症地域支援推進員のほか、認知症当事者とその家族の体験談もあり、31名が参加しました。参加者からも「自分もいずれ認知症になるのではないかと不安だったが、話を聞いて安心した。」などの声をいただきました。

また、勉強会終了後、狭山市が発行している「認知症サポートガイド」を勉強会に参加できなかった近所の人に届けたいと、何部か持ち帰りした方もいました。

現在、認知症の更なる啓発活動についても検討中です。認知症について地域で考えるキッカケをつくれればと考えています。



柏原きのえね坂の家



子どもたちの真剣に楽しむ姿に感動。

12月25日に柏原の「きのえね坂の家」で「しめ縄づくり」を開催しました。

この日は、柏原公民館で毎年行われている「お米づくり体験」で、田んぼで育てたお米の稲わらを使って手作りのしめ縄づくりが行なわれました。松ぼっくりやキンカン、稲穂に造花を使った洋風の飾りです。

子どもたちは、スタッフの協力も受けながら思い思いに自分の飾りを作りました。子どもたちは、飾りを作りと終わると、手づくりの射的やけん玉、竹馬などを楽しみました。

各地区でのアツい活動を紹介します！

奥富地区支え合いネットワーク会議

いつまでも元気に過ごせるような
身体づくりをみんなで！



市内で高齢者を狙った詐欺が急増しているため、百歳体操で集まった皆さんに、堀兼・奥富・新狭山地域包括支援センター堤所長より「実際に被害に遭われた方の体験談」を話していただき、被害に遭わないためには、どんなことに気を付けたらいいかをお伝えしました。お話の中で印象に残ったのは「詐欺をする人は、見た目は怖い人ではなく『とっても優しく、よくお話を聞いてくれるいい人』にみえる人」ということです。騙されそうで怖いですね。体験談を聞くことで、より身近に感じ、自分の身に起きたら・・・と考えることができました。

これからも、より身近な情報の発信地としての活動もしていきたいと思います。

奥富地区の百歳体操はそろそろ6年！皆さんの弾ける笑顔のような色のポロシャツを揃えました。心も体もイキイキ！楽しみながらパワーアップしています。

入間川茶べり場では、上諏訪と鶴ノ木で茶べり場サロンを毎月開催しています。

最近のお気に入り、**「カーレット」**という卓上カーリングのゲームです。カーレットは、氷上のゲームであるカーリングを、どこでも、どんな人でも気軽に遊べるようにしたものです。最近狭山市でもカーレット推進団体のもと、さまざまな場所で体験会が行われています。

茶べり場サロンでも大人気で、参加者たちも大盛り上がりでした。ストーンを滑らせるのにも強すぎず弱すぎずのコツがあるので、皆さんいつの間にか真剣になってしまいます。相手のストーンを弾いて外に追いやったときには歓声が上がっていました。ゲームを通じて、体を動かし、お互いにコミュニケーションを図ることで介護予防につながります。

入間川茶べり場

大人も夢中！
カーレットに大盛り上がり！



いりそ支え合いたっち

たっちは全世代型！



イベント中に子どもを見守るたっちのスタッフ。

入曽交流センターのキッズルームを会場に毎月開催されている「子育てたっち」は、入曽地区に住む子育て家族の憩いの場になっています。参加者は、ヨガ体験等の毎月違った内容のイベントを心待ちにしている方やスタッフとのおしゃべりを楽しみにされているリピーターの方など様々です。

子育てたっちのスタッフ全員が「子育てしている全ての人に優しい場所を作りたい！」という思いで活動していますが、そんな思いが伝わったのか、コロナ禍で外出を控えていたお母さんから「こんなに素敵な場所があったんだね」とのお声をいただき、みんなでほっこりした瞬間がありました。

温かい場所が入曽地区で築かれています。